

#### 4-1-8 自然環境保全に係る地域

##### (1) 自然公園

山梨県には3つの国立公園、1つの国定公園及び2つの県立公園がある。計画地周辺には自然公園はない。

##### (2) 自然環境保全地区

山梨県には13の自然環境保全地区、12の景観保存地区、5の歴史景観保存地区、1の自然活用地区があり、計画地周辺では滝子山自然保存地区が自然環境保全地区に指定されている。

##### (3) 鳥獣保護区

計画地周辺の鳥獣保護区の設定状況は表4-1-39及び図4-1-17に示すとおりである。

計画地に鳥獣保護区の設定はないが、計画地周辺では9箇所設定されている。計画地5km以内にある鳥獣保護区は滝子山周辺と都留いきものふれあいの里周辺である。

表 4-1-39 鳥獣保護区の設定状況

名称	所在地	面積(ha)	期限
小金沢	大月市	1,480.0	H26.10.31
三ツ峠	都留市及び富士河口湖町 三ツ峠一帯	715.0	H28.10.31
岩殿山	大月市	85.0	H26.10.31
都留いきものふれあいの里 (宝の山ふれあいの里)	都留市	60.0	H27.10.31
滝子山	大月市	17.8	H28.10.31
大菩薩	甲州市塩山大菩薩嶺一帯	1,375.0	H26.10.31
大和	甲州市大和日陰	1.8	H30.10.31
三ツ峠特別保護地区	都留市高畑三ツ峠一帯	70.0	H28.10.31
大菩薩特別保護地区	甲州市塩山大菩薩嶺	111.0	H26.10.31

出典) 特別保護地区の制度について みどり自然課  
山梨県ホームページ



4-1-9 環境への負荷

(1) 廃棄物等

計画地及び周辺市町村におけるごみ処理施設及びし尿処理施設の状況は表 4-1-40 に、位置図は図 4-1-18 に示すとおりである。

表 4-1-40 ごみ処理施設及びし尿処理施設の状況（平成 24 年 8 月現在）

利用市町村名 処理施設		大月市		都留市	
		施設名	規模	施設名	規模
ごみ 処理 施設	ごみ焼却 施設	まるたの森 クリーンセンター	104 t/日	まるたの森 クリーンセンター	104 t/日
	粗大ごみ 処理施設	まるたの森 クリーンセンター	7 t/5時間	まるたの森 クリーンセンター	7 t/5時間
	一般廃棄物 最終処分場	—	—	—	—
し尿 処理 施設	し尿処理 施設	大月都留広域 事務組合 し尿処理施設	90 KL/日	大月都留広域 事務組合 し尿処理施設	90 KL/日
	コミュニティプラント	—	—	—	—

出典) 「やまなしの環境 2012」平成 24 年度版 山梨県環境整備課  
まるたの森クリーンセンター ホームページ

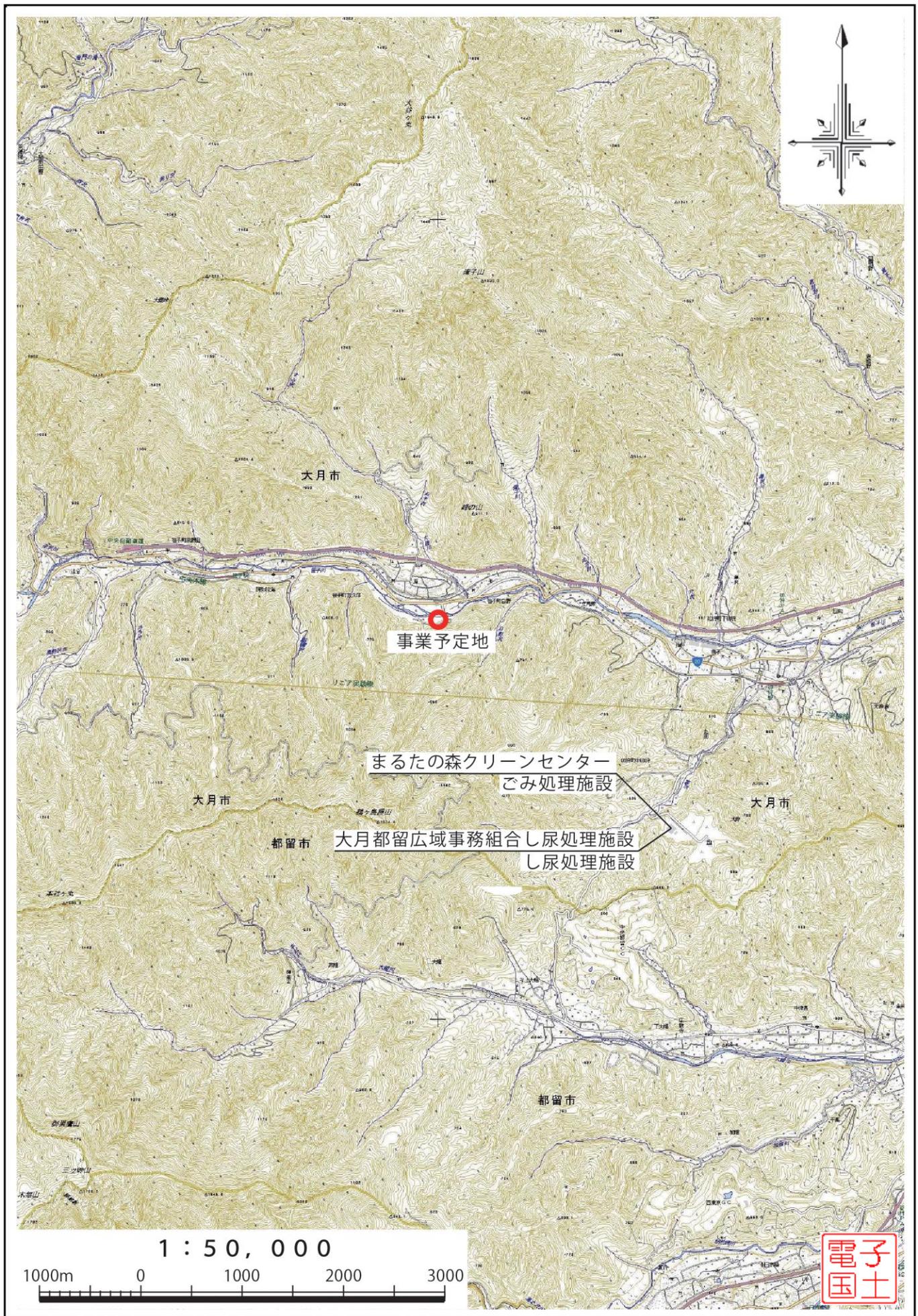


図 4-1-18 一般廃棄物処理施設 位置図

(2) 温室効果ガス

山梨県が推進する主な地球温暖化対策は表 4-1-41 に、周辺市町村の状況は表 4-1-42 に示すとおりである。

山梨県では平成 21 年 3 月に「山梨県地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策を推進している。

表 4-1-41 山梨県の地球温暖化対策

CO <sub>2</sub> 削減 目標	短期目標 (2012 年)	平成 24 年までに、京都議定書基準(平成 2 年)レベル(平成 17 年に比べ 15.9%)に削減。さらに森林県を活かした森林整備により、京都議定書基準年(平成 2 年)比 15.7%相当の CO <sub>2</sub> を吸収する。
	中期目標 (2020 年)	削減対策により、平成 17 年比 23.2%削減する。また、森林による吸収量は 2012 年までの吸収量と同等量の確保に努め、2005 年比 13.2%相当分を吸収する。全体で 2005 年比 13.2%相当分を吸収する。
	長期目標 (2050 年)	再生可能エネルギーの積極的な導入、森林整備による吸収、排出権取引等の新たな手段をフルに活用し、全体で県内の二酸化炭素排出量と吸収量が均衡する「CO <sub>2</sub> ゼロやまなし」の実現を目指す。
主な取組	排出抑制 対策	・温室効果ガス排出抑制計画制度の実施
		・中小企業者に対する省エネ機器導入の支援
		・環境家計簿の普及促進
		・運転事業者の取組の促進(自動車環境計画)
		・エコドライブ運動の推進
		・公共交通機関の利用促進
	森林吸収源 対策	・効率的な間伐の実施
		・公益性の確保が必要な私有林を「環境公益林」と位置付け整備を推進
		・企業が行う森づくり活動による CO <sub>2</sub> 吸収量の認証
		・山梨県地球温暖化対策条例に基づく温室効果ガス排出抑制計画における排出量のオフセット
	再生可能エ ネルギーの 導入	・個人住宅用太陽光発電設備の導入支援
		・メガソーラー発電所の整備
		・小水力発電の普及啓発、情報提供、指導助言及び県によるモデル施設の整備
		・山梨県木質バイオマスの推進計画の推進
		・木質バイオマス支援センターの設置
	その他共通 的・基盤的 施策	・都市機能の集約化、資源・エネルギー消費の軽減により持続的に発展できる都市構造を形成
・やまなし環境教育実施指針に基づく事業の実施		
・山梨大学等と連携した産学官による燃料電池の技術開発		
・県内の温室効果ガス排出構造の調査研究		

出典) 「やまなしの環境 2012」平成 24 年度版 山梨県環境整備課

表 4-1-42 周辺市町村の地球温暖化対策

市町村名	主な取組
大月市	市内の施設等を対象とし平成20年から平成25年度の5年間で毎年1%の削減を目標とし平成25年までに（平成19年度を基準とした）マイナス5%削減を目標とする。 自然エネルギーの導入促進 グリーン購入の促進 節電・節水等 アイドリングストップの徹底とエコドライブ運動の実施 ゴミの減量やリサイクル
都留市	環境負荷の低減に配慮した事務の執行 環境負荷の低減や周辺環境に配慮した庁舎等の維持管理 節電・節水等 ゴミの減量やリサイクル 自然エネルギーの導入促進 「市職員グリーン・デー」の設定

出典) ・第2次大月市地球温暖化対策実行計画  
・都留市地球温暖化対策実行計画

(3) オゾン層の破壊物質

山梨県のオゾン層保護のため主な施策は表 4-1-43 に示すとおりである。  
オゾン層破壊物質とされるフロンの回収・破壊を推進している。

表 4-1-43 山梨県のフロン回収施策

主な取組
平成9年 「山梨県フロン回収促進協議会」の設立
平成13年 フロン回収・破壊法制定
平成17年 使用済自動車の再資源化等に関する法律
平成19年 改正フロン回収・破壊法制定
回収実績（平成23年度）
冷凍空調機器 8,653台 18,224.98kg

出典) 「やまなしの環境2012」平成24年度版 山梨県環境整備課

## 4-2 地域の社会的状況

### 4-2-1 人口

計画地及び周辺市町村等の人口の状況は表 4-2-1 に示すとおりである。なお、「大月市統計書」は平成 23 年度版が最新版であったため、平成 24 年分については、「大月市市民課資料（大月市各町別人口及び世帯数）」及び「山梨県常住人口調査 平成 24 年度」からの出典とした。

大月市の世帯数は横ばい状態、人口は減少傾向となっている。

近隣の状況については、笹子町は平成 24 年 10 月 1 日現在では 417 世帯で 1,129 人となっている。

世帯数は横ばい状態、人口は減少傾向となっている。

また、その他の周辺市町村の人口についても全ての市町村で減少傾向となっている。

表 4-2-1 人口の状況（各年 10 月 1 日現在）

区分	県市町村名	平成年	世帯数	人口			対前年人口 増加率	人口密度
				総数	男	女		
				人	人	人		
県	山梨県	20	326,821	872,724	426,870	445,854	-0.58	195.4
		21	328,320	869,132	425,096	444,036	-0.41	194.6
		※22	327,721	863,075	422,526	440,549	-0.50	193.2
		23	328,891	857,690	419,664	438,026	-0.62	192.1
		24	330,120	851,681	416,524	435,157	-0.70	190.7
市	大月市	20	10,862	29,765	14,551	15,214	-1.92	106.2
		21	10,803	29,273	14,292	14,981	-1.65	104.4
		22	10,716	28,687	14,017	14,670	-2.00	102.3
		23	10,716	28,214	13,805	14,409	-1.64	100.6
		24	10,754	27,899	13,657	14,242	-1.11	99.5
	都留市	20	13,392	34,279	16,432	17,847	-0.51	212.1
		21	13,396	33,848	16,183	17,665	-1.26	209.5
		※22	13,536	33,588	16,117	17,471	-0.77	207.9
		23	13,725	33,451	16,130	17,321	-0.41	207.0
		24	13,927	33,270	16,034	17,236	-0.54	205.9
町	笹子町	20	419	1,207	590	617	-2.35	30.5
		21	421	1,198	585	613	-0.75	30.3
		22	417	1,170	576	594	-2.34	29.6
		23	420	1,140	553	587	-2.56	28.8
		24	417	1,129	546	583	-0.96	28.5
	初狩町	20	799	2,244	1,084	1,160	-2.09	118.9
		21	794	2,211	1,066	1,145	-1.47	117.1
		22	794	2,159	1,036	1,123	-2.35	114.4
		23	810	2,125	1,018	1,107	-1.57	112.6
		24	819	2,119	1,010	1,109	-0.28	112.2
	大月町	20	2,711	6,777	3,269	3,508	-1.97	170.6
		21	2,672	6,651	3,196	3,455	-1.86	167.4
		22	2,643	6,531	3,144	3,387	-1.80	164.4
		23	2,632	6,381	3,113	3,268	-2.30	160.6
		24	2,642	6,351	3,092	3,259	-0.47	159.9

注釈) ※：人口及び世帯数は国勢調査によるものであるため数字が一致しないことがある

出典) ・大月市役所 HP(大月市統計書平成 23 年度版)

・大月市市民課資料(大月市各町別人口及び世帯数) 平成 24 年

・山梨県常住人口調査 平成 24 年度 山梨県統計調査課

4-2-2 産業

(1) 産業構造

計画地及び周辺市町村の産業状況は表 4-2-2～4 に示すとおりである。

大月市の就業者は、平成 22 年 10 月 1 日現在で第一次産業 189 人、第二次産業 4,116 人、第三次産業 8,131 人となっている。人数をみると全ての産業で減少しており、割合をみると第一次及び第二次産業では減少傾向、第三次産業では増加傾向となっている。

表 4-2-2 産業分類別 15 歳以上就業者数（各年 10 月 1 日現在）

市町村名	平成 年	一次産業		二次産業		三次産業		分類不能の 産業		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
大月市	17	249	1.8	4,862	34.8	8,787	62.9	78	0.6	13,976	100.0
	22	189	1.5	4,116	32.8	8,131	64.7	130	1.0	12,566	100.0
都留市	17	228	1.4	6,316	38.1	9,952	60.1	69	0.4	16,565	100.0
	22	213	1.4	5,632	36.5	9,276	60.1	315	2.0	15,436	100.0
山梨県	17	37,947	8.5	134,682	30.3	267,341	60.2	3,919	0.9	443,889	100.0
	22	29,906	7.2	118,367	28.6	257,789	62.2	8,507	2.1	414,569	100.0

出典) やまなしの統計(山梨県統計調査課 平成 25 年)

表 4-2-3 一次・二次産業 15 歳以上就業者数（平成 22 年 10 月 1 日現在）

単位（上段：人 下段：%）

市町村名	一次産業				二次産業			
	農業	林業	漁業	計	鉱業	建設業	製造業	計
大月市	92	97	0	189	23	1,112	2,981	4,116
	0.7	0.8	0.0	1.5	0.2	8.8	23.7	32.8
都留市	152	50	11	213	18	1,393	4,221	5,632
	1.0	0.3	0.1	1.4	0.1	9.0	27.3	36.5
山梨県	28,864	948	94	29,906	303	33,399	84,665	118,367
	7.0	0.2	0.0	7.2	0.1	8.1	20.4	28.6

出典) やまなしの統計(山梨県統計調査課 平成 25 年)

表 4-2-4 三次産業 15 歳以上就業者数 (平成 22 年 10 月 1 日現在)

単位 (上段 : 人 下段 : %)

市町村名	三次産業							
	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業
大月市	102	205	678	1,765	243	117	246	722
	0.8	1.6	5.4	14.0	1.9	0.9	2.0	5.7
都留市	67	135	630	2,156	300	176	339	1,177
	0.4	0.9	4.1	14.0	1.9	1.1	2.2	7.6
山梨県	2,261	5,385	15,993	63,685	9,181	5,163	9,322	29,131
	0.5	1.3	3.9	15.4	2.2	1.2	2.2	7.0

市町村名	三次産業							分類不能の産業
	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業 (他に分類されないもの)	公務 (他に分類されないもの)	計	
大月市	675	620	1,247	126	761	624	8,131	130
	5.4	4.9	9.9	1.0	6.1	5.0	64.7	1.0
都留市	918	746	1,292	114	738	488	9,276	315
	5.9	4.8	8.4	0.7	4.8	3.2	60.1	2.0
山梨県	17,256	19,393	41,961	3,784	19,786	15,488	257,789	8,507
	4.2	4.7	10.1	0.9	4.8	3.7	62.2	2.1

出典) やまなしの統計(山梨県統計調査課 平成 25 年)

(2) 農林業

大月市の農業は、水稻、野菜、果樹などが行われている。農業就業者の高齢化や後継者不足などによって、耕作面積、農業粗生産額も減少し、農家一戸あたりの生産農業所得は年々減少している。

林業についても保有山林面積 5ha 以下の小規模林家が約 8 割を占める事や木材価格の低迷により厳しい状況が続いている。

計画地及び周辺市町村の農業粗生産額の状況は、表 4-2-5 に示すとおりである。なお、農業粗生産額の状況は大月市産業観光課による現状での最新データを出典した。

表 4-2-5 農業粗生産額の状況

単位：百万円

平成4年	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年
61.0	52.0	54.3	45.0	29.0	27.0

出典) 大月市産業観光課 平成 25 年 11 月

(3) 工業

大月市の工業は、繊維産業を基盤に発展してきたが、近年は機械及び電気・電気機械器具などの製造業種の出荷割合が増加している。

計画地及び周辺市町村の製造業出荷額の状況は、表 4-2-6 に示すとおりである。なお、製造業出荷額の状況は大月市産業観光課による現状での最新データを出典した。

表 4-2-6 製造業出荷額の状況

単位：百万円

平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年
74,499	82,194	59,160	30,279	51,394	36,033

出典) 大月市産業観光課 平成 25 年 11 月

(4) 商業

大月市の商業は小売業が中心だったが、道路網が整備され市民の購買・消費の圏域が拡大したことから商店数、商品販売額ともに減少傾向にある。

計画地及び周辺市町村の総数年商品販売額の状況は、表 4-2-7 に示すとおりである。

表 4-2-7 総数年商品販売額の状況

単位：百万円

平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
43,459	39,291	37,018	31,650	27,220	28,480	25,635

出典) やまなしの統計(山梨県統計調査課 平成25年)

#### 4-2-3 土地利用

計画地及び周辺市町村の土地利用の状況は表 4-2-8 に示すとおりである。

大月市は総面積に占める林野の割合が 87%と山梨県全体の 78%を上回っている。

表 4-2-8 平成 22 年度土地利用の状況

市町村名	総数 (ha)	林野(ha)				耕地(ha)			その他 (ha)
		総数	国有林	県有林	民有林	総数	田	畑	
大月市	28,030 (100)	24,319 (87)	207	11,165	12,947	288 (1)	114	174	3,423 (12)
都留市	16,158 (100)	13,620 (84)	115	5,923	7,582	349 (2)	247	75	2,189 (14)
山梨県	446,537 (100)	347,313 (78)	4,645	158,246	189,260	24,600 (6)	8,140	16,500	74,624 (17)

備考) ・( ) 内は割合を示す単位%

・四捨五入のため、合計数値と内訳が一致しない場合もある。

出典) ・農林水産省ホームページ

・「平成 24 年版 山梨県林業統計書」山梨県森林環境総務課

#### 4-2-4 水利用

##### (1) 水道

計画地及び周辺市町村等の水道普及状況は表 4-2-9 に、下水道普及率は表 4-2-10 に示すとおりである。

大月市の給水人口は平成 23 年度 26,852 人で普及率は 95.5%となっている。

表 4-2-9 水道普及状況

市町村名	年度	行政区域内総人口	計画給水人口	現在給水人口	普及率
大月市	平成 19	30,169	40,182	29,463	97.7
	平成 20	29,686	37,372	28,425	95.8
	平成 21	29,072	37,479	28,017	96.4
	平成 22	28,491	36,708	27,577	96.8
	平成 23	28,126	36,708	26,852	95.5
都留市	平成 19	33,071	41,275	32,763	99.1
	平成 20	32,801	41,275	32,597	99.4
	平成 21	32,480	41,275	32,204	99.2
	平成 22	32,295	41,275	32,224	99.9
	平成 23	32,015	41,275	32,004	100.0
山梨県	平成 19	887,537	1,033,130	868,909	97.9
	平成 20	883,726	1,014,042	865,909	98.0
	平成 21	880,242	1,011,185	861,753	97.9
	平成 22	875,893	998,739	857,868	97.9
	平成 23	875,967	996,187	853,747	97.5

出典) 山梨県ホームページ 各年水道統計

表 4-2-10 下水道普及率

市町村名	行政人口 (人)	処理区域内人口 (人)	水洗化人口 (人)	普及率 (%)	水洗化率 (%)
大月市	27,537	4,526	2,979	16.4	65.8
都留市	31,883	8,629	4,962	27.1	57.5
山梨県	863,917	539,542	476,089	62.5	88.2

備考) 行政人口は平成 24 年 3 月末の住民基本台帳人口

出典) 山梨県ホームページ

(2) 漁業権

計画地周辺の漁業権の設定状況は表 4-2-11 及び図 4-2-1 に示すとおりである。

計画地周辺の河川には桂川漁協と都留漁協の漁業権が設定されている。

表 4-2-11 計画地周辺の漁業権の設定状況

漁業名称	項目	内容
桂川漁業協同組合	漁業公示番号	共第 8 号
	漁業権対象魚種	アユ・ヤマメ・ニジマス・イナ・ウギ・ウグイ・オカワ・コイ・フナ・リカギ
	漁場の区域	桂川（大月市大月町下流県境に至る間）笹子川及び各支流
都留漁業協同組合	漁業公示番号	共第 9 号
	漁業権対象魚種	アユ・ヤマメ・ニジマス・イナ・ウグイ
	漁場の区域	桂川（大月市大月町境より上流富士吉田に至る間）各支流

出典) ・山梨県漁業協同組合ホームページ  
・山梨県告示第 341 号 昭和 26 年 12 月

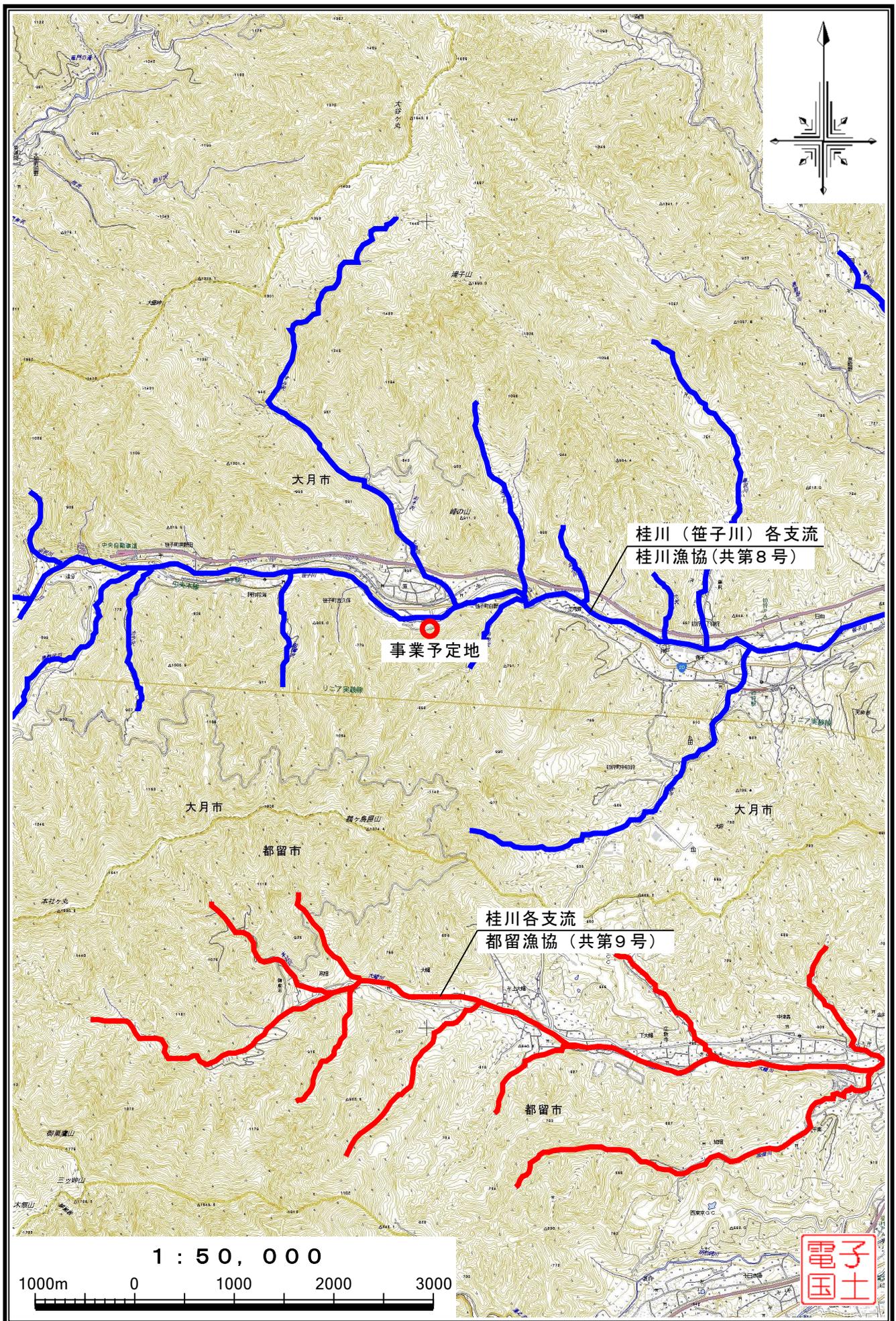


図 4-2-1 漁業権設定の状況